

クラブ活動評価選抜

I 期

II 期

募集人員 I 期・II 期合わせて50名

本学の教育目標とアドミッション・ポリシーを理解し、高等学校時にクラブ活動に情熱を注ぎ、強い学習意欲と目的意識を持つ入学希望者を対象に、学力試験では判断し得ない能力について、多面的、総合的に評価します。

● 特待合格制度 合格者のうち全国大会出場者は、**入学金(25万円)を免除**します

※対象の大会につきましては、本学クラブ顧問・監督に直接お問い合わせください。

	I 期	II 期
出願期間 (締切日消印有効)	令和6年9月18日(水)～10月4日(金)	令和7年1月20日(月)～2月5日(水)
試験日	令和6年10月19日(土) 予備日:令和6年10月23日(水)	令和7年2月21日(金)
合格発表日	令和6年11月5日(火)	令和7年2月28日(金)
出願資格	①～⑤の条件をすべて満たす者 ① 令和7年3月に高等学校もしくは中等教育学校を卒業見込みの者 ② 出身学校長および出身学校で所属するクラブの顧問または監督の推薦がある者 ③ 本学の各クラブが定める競技実績を満たす者か、本学に入学後クラブの一員として活躍しうる素質を有すると本学が認めた者 ④ 合格した場合は必ず本学に入学する者 ⑤ 工学部・環境学部・経営情報学部……全体の学習成績の状況が3.0以上の者 スポーツ健康科学部………全体の学習成績の状況が3.0以上、または保健体育の成績が3.5以上の者	
試験内容	① プレゼンテーションを含む面接(個人面接形式) 1人あたり約15分 ② クラブ実績 【プレゼンテーションテーマ】 ※プレゼンテーションの時間は3分程度 「高校時代のクラブ活動を通して学んだことを志望する学科での学びにどのように活かすかについて、大学卒業後の目標を交えて口頭で説明しなさい。」 ※プレゼンテーションを含む面接は、口頭のみとし、受験票以外の書類はカバン等にしまってください。	
試験時間割	I 期 [スポーツ健康科学部] 9:30～ 受験上の注意 9:40～ 面接 [工学部・環境学部・経営情報学部] 13:30～ 受験上の注意 13:40～ 面接 ※面接開始から20分以上の遅刻は認めません。	II 期 [全学部] 13:30～ 受験上の注意 13:40～ 面接 ※面接開始から20分以上の遅刻は認めません。
選考方法 配点	プレゼンテーションを含む面接[100点]、クラブ実績[50点]、調査書[50点](全体の学習成績の状況を10倍)の合計[200点満点]と出願書類(調査書・学校長推薦書・志望理由書等)により総合的に選考します。	
試験地	福井(本学)・高知・鹿児島	
入学手続 締切日	I 期 1次: 令和6年12月13日(金) 2次: 令和7年1月9日(木) ※特待合格者は入学金免除のため、1次手続は不要です。	II 期 1次: 令和7年3月5日(水) 2次: 令和7年3月14日(金) ※特待合格者は入学金免除のため、1次手続は不要です。

※出願書類については39ページをご確認ください。 ※1次・2次入学手続については44ページ「入学手続」をご確認ください。

クラブ名	顧問・監督・コーチ名	連絡先電話番号	クラブ名	顧問・監督・コーチ名	連絡先電話番号
柔道	大 柿 直	0776-29-2620(代)	サッカー	原 美彦	0776-29-7871(直)
剣道	渡 邊 龍 二 郎	0776-29-2821(直)	バレーボール	栗 生 澤 淳 一	0776-29-7867(直)
馬術	吉 村 英 喜	0776-29-2620(代)	ゴルフ	横 井 優 星	0776-29-2821(直)
力ヌー	野 口 雄 慶	0776-29-2620(代)	水泳	矢 武 竜 也	0776-25-3939(代)
空手道	リチャード・カミンスキー	0776-29-2620(代)	男子ホッケー	渡 邊 宏 樹	0776-29-7867(直)
陸上競技	内 藤 景	0776-29-2620(代)	女子ホッケー	齋 藤 有 司	0776-29-7871(直)
硬式野球	町 田 公 二 郎	0776-29-2620(代)	吹奏楽	上 野 元 久	0776-29-7867(直)
女子硬式野球	新 井 純 子	0776-29-2620(代)			

■ 課外活動推薦書について

課外活動推薦書(本学所定の用紙)は、出願前に出身高校のクラブ顧問・監督から、本学のクラブ顧問・監督に提出してください。なお、出場大会、記録等、その成績を証明する新聞切抜等の資料を添付してください。また、記入は必ず出身高校のクラブ顧問・監督が行ってください。

■ 第2志望について

クラブ活動評価選抜では第2志望制度を採用しており、全体の学習成績の状況が3.0以上の者は出願の際に第2志望学科を選択することが必須となっております。これは、第1志望の合格基準には達していないものの、第2志望の合格基準には達している場合に、その学科への合格を認めることもあるということです。なお、第2志望の入学検定料は必要ありません。また、学部をまたいで学科を志望することができます。